

気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館とのコラボイベント「液状化のしくみを知ろう！」を開催しました（2020/08/08）

テーマ：親子で学べる防災教室

URL：<https://irides.tohoku.ac.jp/organization/kesenuma/kesenuma.html>

8月8日（土）に、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館研修室 A・B にて、伝承館とのコラボイベント「親子で学べる防災教室」を開催しました（同館の夏休みの特別イベントの一環）。当研究所は平成 25 年 7 月に「気仙沼市と国立大学法人東北大学災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定」を締結するとともに、気仙沼分室を気仙沼市内に設置して、防災・減災や復興の推進に連携して取り組んでいます。

今回のイベントは、小中学生の親子を対象に「液状化のしくみを知ろう！」と題した防災教室で、講師は当研究所の森口周二准教授（地域・都市再生研究部門 計算安全工学研究分野）が務め、佐藤翔輔准教授（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）がサポートしました。液状化のしくみを説明したあとに、砂と水を使い液状化を再現しました。続いて屋外に場所を移し、参加者にペットボトルを使った液状化を再現する装置を作成してもらいました。

新型コロナウイルス対策として密にならないよう定員 10 組を上限として、当日も注意しながら実施しました。子ども 8 名、保護者 5 名の方にご参加いただきました。自ら積極的にメモをとるお子さんがいたり、最後には参加者から講師に対して感謝の言葉があるなど、盛会のうちに終わりました。



講師・森口周二准教授



会場の様子①（座学：室内）



会場の様子②（体験：屋外）



会場の様子③（体験：屋外）